

## 5. 山麓田園地域

## A 配置 (1)

### 風景づくりの基準

---

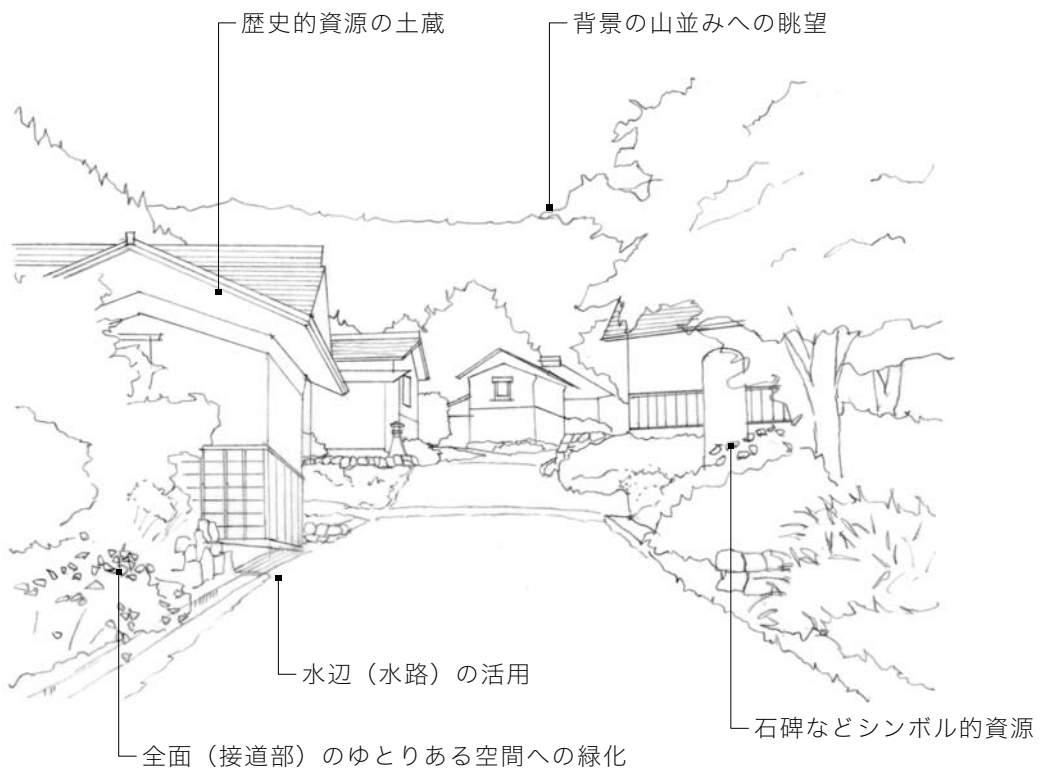
- ① 参道などへ続く沿道については、家並みの連続性を考慮した配置を考慮すること。その他は、接道部に緑化が図れるよう、前面にゆとりある空間を設けること。
- ② 建築物の周囲は、屋根の方向と積雪期の堆雪、積雪期以外の緑化などを考慮してゆとりある空間を設けること。
- ③ 敷地内に樹木や河川、水辺等がある場合は、これらを生かせる配置とすること。

### 解説

---

小菅地区や福島地区は、神社等へ至る道沿いに歴史的な雰囲気を残しています。この風景は、道路から住宅の前面へ移行する半公共的な空間が大きく関係します。敷地内の土蔵などの歴史的資源や、シンボルとなる樹木がある場合は、歴史的な雰囲気を高め、魅力的な風景資源として直接見えるように配慮します。近代的なガレージなどは、道路際からできる限り離して配置します。

#### ●家並みの連続性に配慮した配置



## A 配置 (2)

### 風景づくりの基準

- ④ 田園や背景となる山並みへの眺望を極力阻害しない配置とすること。特に眺望の対象となるりょう線や斜面上部への配置はできるだけ避けること。
- ⑤ 電柱、鉄塔類はできるだけ目立たない位置に設置すること。

### 解説

建物の配置は、どれだけ自然環境に注意を払っているかで風景に影響を与えます。今ある樹木や水の流れを利用して建物を配置する、自然地形に逆らわず土地を活用する、山並みやランドマークとなる建造物への眺望をさえぎらないなど注意を払うことによって、自然の中に見え隠れする良好な集落の風景がつくられます。電柱（電線も含む）や鉄塔類については、出来る限り敷地の奥や通りから見えにくい場所に設置するようにします。

#### ●自然環境に調和した建物・集落



神戸から見下ろす田園と集落



良好な眺望に電柱が目に入る

#### ●通信等施設の配慮



携帯電話などの中継基地となる電波塔は、広範囲での通話エリアを確保するために見晴らしの良いりょう線上に設置されることがあります。利便性の向上と風景づくりが相反する場合があるため、事業者は飯山市と相談しながら風景に配慮した設置位置や外観を考慮する必要があります。

## B 規模

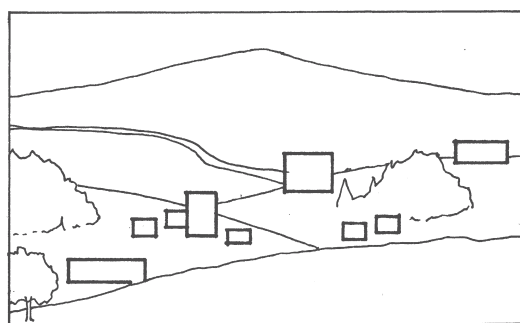
### 風景づくりの基準

- ① 周辺の山麓田園の風景から著しく突出した印象を与えない規模、建築物等と敷地の釣り合い、高さとすること。
- ② 建築物の高さは低層を基本とし、周囲の山麓田園の風景に配慮すること。

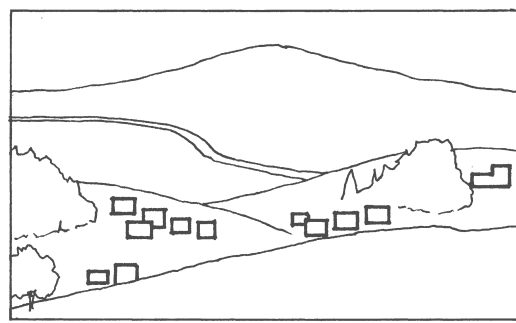
### 解説

山麓田園地域は、周囲の山並みに囲まれながらも、田園風景の視界が広がり、歴史・文化が融合して風景がつくられています。背景となっている山並みのりょう線や緑、広がる田園風景の眺望を遮らないように建築物や工作物の規模に配慮します。建築物はできるだけ低層にし、隣接する建築物と間隔を確保して緑を配置します。

#### ●突出した印象を与えないまち並み



単純に規模の大きな建物は、周囲の山並み風景などをさえぎる



周囲の樹林やりょう線と調和するように高さや規模に配慮する



◆福島から見下ろす田園と集落



◆柄山の田園と集落

## C 意匠・形態 (1)

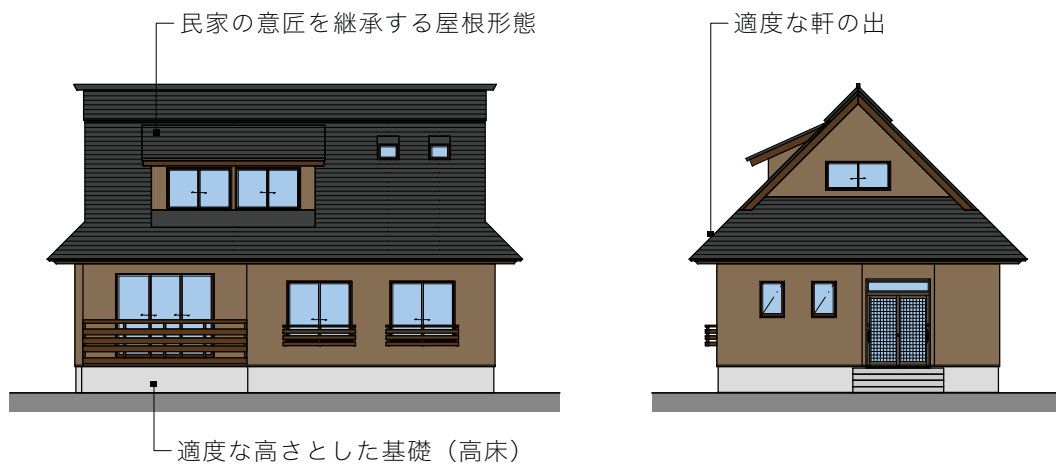
### 風景づくりの基準

- ① 地域の伝統的な形態・意匠等の活用にできるだけ努め、周囲の山麓田園の風景との調和に努めること。
- ② 屋根の形状はこう配屋根で適度な軒の出を有するものとし、こう配は背景の山並みや周辺の建築物等との調和に努めること。

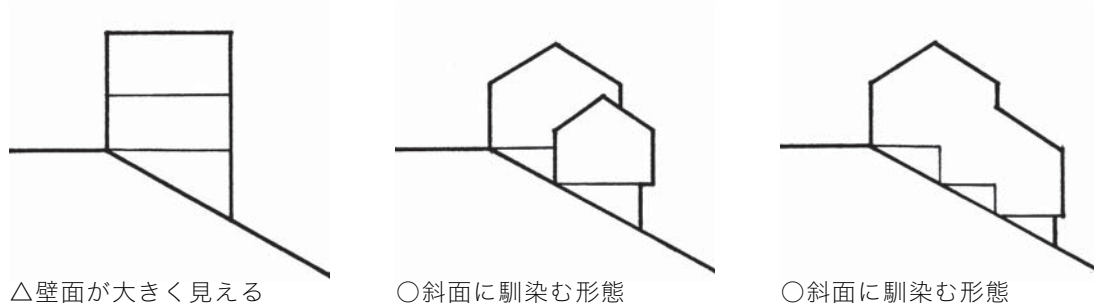
### 解説

山麓田園地域には、中門造り（曲がり屋）の雰囲気を残した民家や、茅葺の寄棟屋根の民家が残し、ふるさとの原風景をつくっています。できるだけ伝統的な民家を活かすとともに、現代的な生活を取り入れた住宅を建てる際には、伝統的な民家の形態や意匠を取り入れます。屋根はこう配屋根とし、周囲と屋根方向を揃えます。特に斜面に建つ建物の場合は、壁面が大きく見えがちになることから、屋根と壁面の意匠的な工夫をします。

#### ●地域の伝統を感じる意匠・形態のモデル



#### ●急傾斜地での形態



## C 意匠・形態 (2)

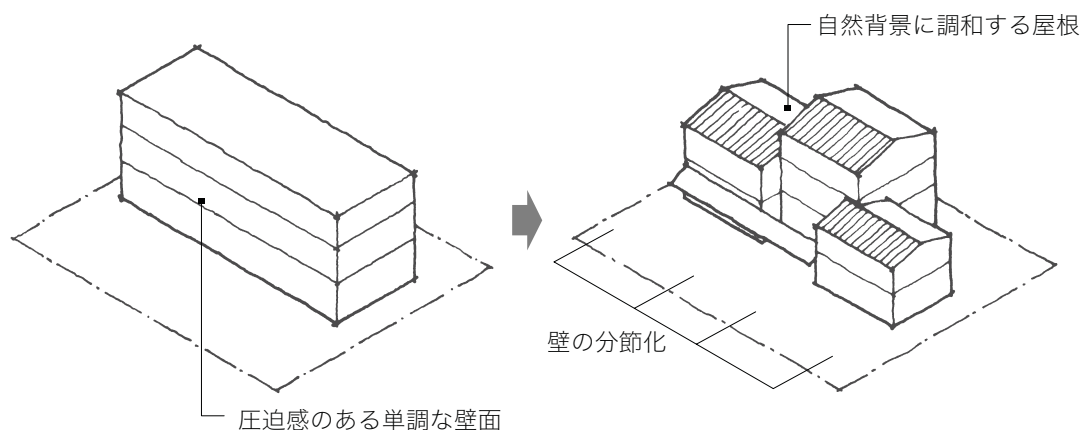
### 風景づくりの基準

- ③ 規模が大きい建築物は、大規模な平滑面が生じないように、壁面の陰影等の処理、屋根、開口部等の意匠の工夫により、圧迫感や威圧感を軽減し、周囲との調和を図ること。
- ④ 屋上の設備は外部から見えにくいよう、壁面、ルーバーで覆う等の工夫をすること。

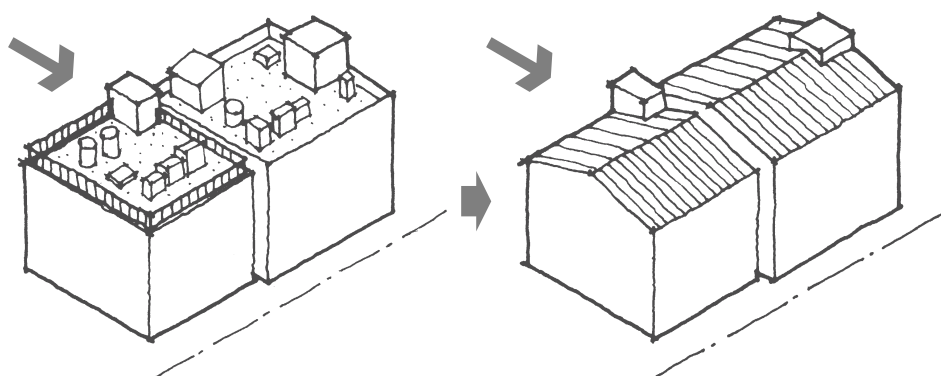
### 解説

周囲を山並みに囲まれ、田園風景が広がる山麓田園地域では、建築物の規模が少しでも大きくなると、自然環境との調和が難しくなります。規模が大きい建築物は、圧迫感を与える大きな壁面とならないようファサードに凹凸をつけたり、壁面、屋根、開口部等の意匠の工夫で分節化を図り周辺環境との調和を図ります。

#### ● 圧迫感や威圧感を与えない壁面の配慮



#### ● 上から見下ろす家並みへの配慮





## C 意匠・形態 (3)

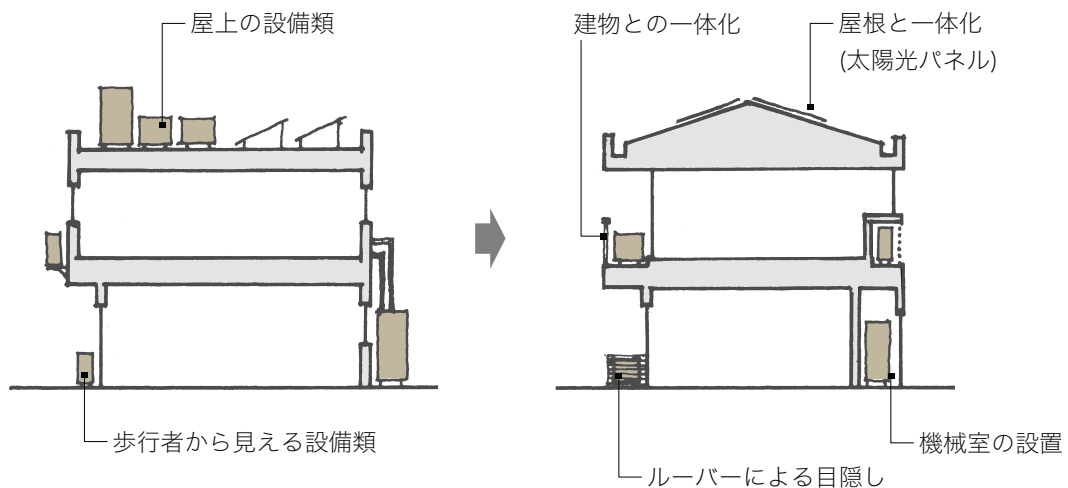
### 風景づくりの基準

- ⑤ 屋外階段、ベランダ、パイプ類等の付帯設備や付帯の広告物等は、煩雑な印象を与えないよう、デザインに配慮し、建築物等本体との調和を図ること。

### 解説

空調機の室外機や給湯機、パイプ類などは、外部から直接見るとあまり心地の良いものではありません。歩行者から見える場所や上から見下ろせる屋根の上などは、建築物の外観意匠と調和するよう目隠しを行う、建物との一体化や内部設置などの工夫を考えます。屋外階段、ベランダも同様に建築物の外観意匠と調和するようデザインを考えます。

#### ●設備機器に対する配慮



### 配慮事例



◆室外機などの設備機器の修景

## D 材料

### 風景づくりの基準

---

- ① 周辺の風景と調和し、耐久性に優れた材料を用いること。また、できるだけ木がみえるような素材使いに努めること。
- ② 反射光のある素材を極力用いないように努めること。

### 解説

---

歴史、文化、ふるさつを感じる飯山の建築物は、主に木材、漆喰、土塗壁、石材、金属等の自然素材を中心として構成されています。できるだけ木が感じられる素材を使用した意匠形態にし、周辺の自然環境と調和するようにします。また、ミラーガラスや鏡面仕上げの金属など反射光のある素材はできるだけ使わないようにします。

#### ●外壁塗材の例

砂壁・土壁状等の細やかな質感があるものを推奨



じゅらく調



校倉調

#### ●外壁板張りの例

上：南京下見板、下：目板張り



#### ●外壁パネルの例

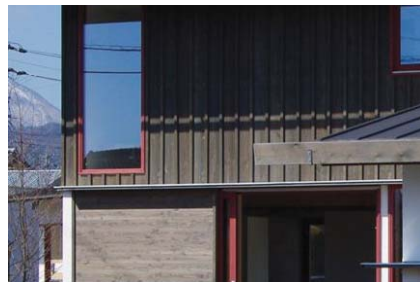
水平線が陰影をつくる素材感があるものを推奨



くしなみ調



石積み調

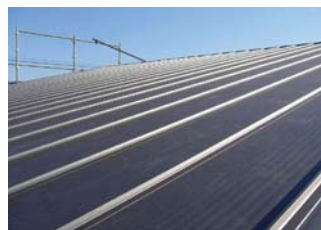


#### ●屋根材の例

屋根材は、積雪を考慮して金属板（銅板）の平葺き、横葺き、立はせ葺きで葺かれたものを推奨



横葺き



立はせ葺き

豪雪地である飯山の屋根材は、金属板などに限定されてしまいます。金属板は色が豊富にありますが、まち並み風景に配慮した選択が必要です。



# E 色彩 (1)

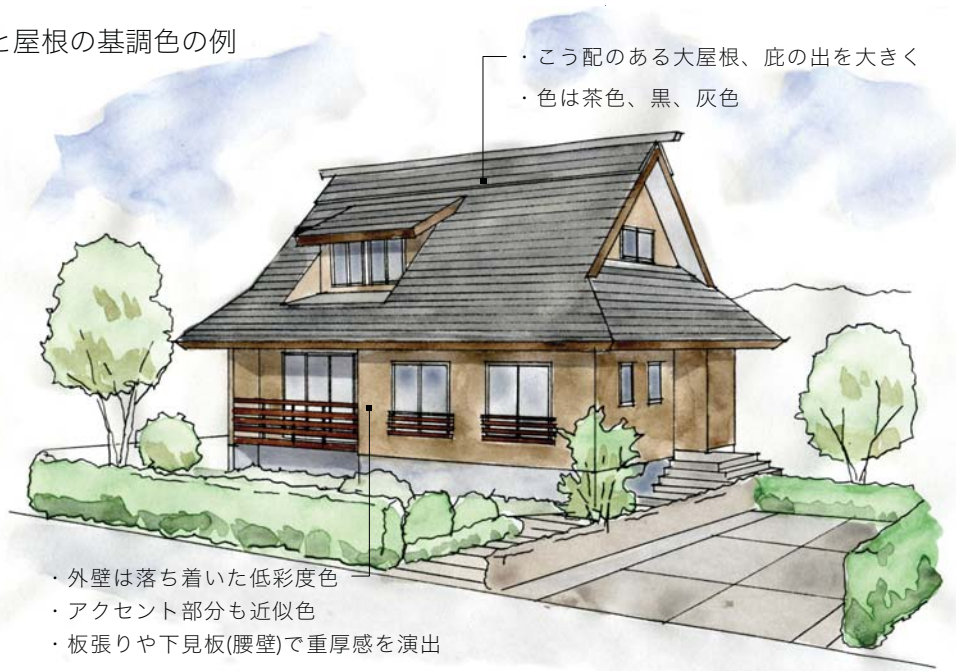
## 風景づくりの基準

- ① 外壁などの基調色は、けばけばしい色彩とせず、落ち着いた色調とすること。
- ② 屋根の色は青色系を避け、できるだけ茶色系（落ち着いた赤）、黒色・灰色系とすること。
- ③ 使用する色数はできるだけ少なくするよう努めること。

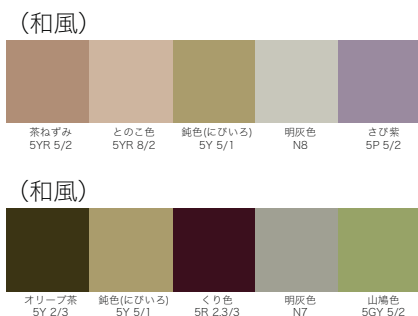
## 解説

歴史、文化、ふるさとをテーマとする家並みの建築物は、主に木材、漆喰、土塗壁などの自然素材が持つ色彩を基本とします。外壁は、落ち着いた彩度（鮮やかさ）の低い色を使います。屋根の色は、濃い目で重厚感があり、光沢のない茶色・黒・灰色を基本とし、周辺の自然に馴染まない彩度の高い青色系などは使わないようにします。

### ●外壁と屋根の基調色の例



### ●おすすめカラーイメージ



### ●マンセル表示系による指標

色相	彩度の指標	ベースカラーの推奨	明度
R系	3以下		
Y R系	3以下		
Y系	3以下		
その他	2以下		

## E 色彩 (2)

### 風景づくりの基準

- ④ 照明を行う場合は、設置場所周辺の環境に留意し、過度なものとならないように留意すること。
- ⑤ 光源で動きのあるものは、原則として避けること。

### 解説

店舗を設ける場合、店先の照明は、雰囲気を作りだす色温度の設定と明暗のバランスが大切です。電球色のような温かみのある光源を用い、夜間の風景の演出に努めます。点滅式照明、回転灯や照射する光が動くもの（電光掲示など含む）については、刺激的で強い光を放ち、まち並みの風景に支障をきたすため使用を避けます。

#### ●光色と演色性

##### 光色

ランプの光の色には、青みがかったものや黄みがかったものがあります。これをランプの光色と言います。まち並み風景には、蛍光灯の白色よりも、おもてなしの雰囲気をつくることのできる温かな電球色の方が適しています。

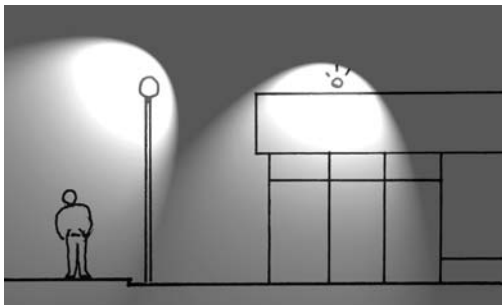


##### 演色性

一般に、物体の色は、異なった組成の光で照明すると違った色に見えます。物体の色の見え方に及ぼす光源の性質を演色性と言います。この演色性によりまちや商品の見え方の良否に関わることから、ランプを選択する際に重要な要素となります。

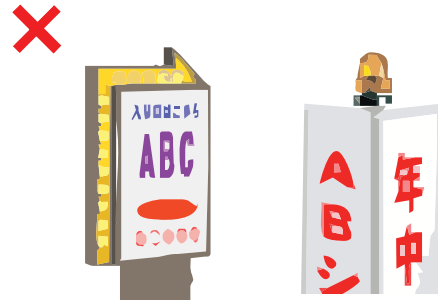


#### ●沿道への照明の配慮



歩行者やドライバー、農地に直接眩しい光を当てないように光源の向き、遮光に配慮する。

#### ●回転等や点滅、動光、着色光は控える



## F 緑化

### 風景づくりの基準

- ① 敷地内に優れた樹木等がある場合は、可能な限り保存若しくは移植し、修景に生かすこと。
- ② 建築物等の周囲は積雪、堆雪等の状況を考慮した上でできるだけ緑化し、圧迫感・威圧感の軽減に努めること。
- ③ 駐車場、自転車置き場等を設ける場合は、道路から直接見えにくいように周囲の緑化に努めること。
- ④ 緑化に使用する樹種は、周辺の樹林や緑地と調和した地域の風土にあったものとするように努めること。
- ⑤ 河川等がある場合は、樹木を活用して、水辺の風景に配慮すること。

### 解説

冬の積雪により建物周りとはかく花や緑が少なくなりがちになります。うるおいある山麓田園地域の風景づくりを進めるには、玄関先や敷地周りに雪に強く風土にあった樹種を選んで出来るだけ緑化し、冬は飯山の風物となる雪囲いを施し、周囲の自然環境と一体となった集落の風景をつくります。また、沿道の潤いある風景づくりに寄与してきたこれまでの花づくり活動については、さらなる取り組みを進めます。

### 配慮事例



◆民家と開放的な庭と緑



◆参道へ向かう沿道の緑



◆冬の風景となる雪囲い



◆歴史的資源を引き立てる緑



◆駐車場周りの緑化

